

公民科「政治・経済」シラバス

1 授業の基本方針

現在、国内はもちろん国際社会でも、政治や経済の様々な制度やしきみが、日々刻々と変化しています。そのことを皆さんはどれくらい知っていますか。その変化の中でこれからの社会を生きていく皆さんには、この国で、この世界で、いま何が起きているのかをきちんと知ってほしいと思います。

高校生は、人生の中で最も多感で、価値観を形成する上で重要な時期です。この授業は、将来の日本を支え、世界を背負って立てる人間を育てようという気持ちをもって、次の方針のもとに行います。

新聞やテレビなどで報道される時事的な問題など、具体的な事例を数多く取り上げ、現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な概念や理論を理解するためのキーポイントを明確に示し、わかる授業を行います。

講義式、グループ学習、ディベートなど、様々な学習活動を行い、発表や質疑応答などを通して、ものごとを多面的・多角的に考え、公正に判断し行動できる力を養います。

情報の収集・選択、レポートのまとめ方など、課題追究の方法を身につけ、将来、社会科学を専門的に学ぶ大学などへの橋渡しができるよう、内容の深化・発展を図ります。

2 授業を受けるにあたっての留意事項

よい授業は、教師と生徒の協働によって成り立つものです。そして授業の主役は生徒の皆さんです。よりよい授業にするために、次の事項に留意してください。

日頃から新聞やテレビのニュースに関心を持ち、現代の政治、経済、国際関係の動向について主体的に考察しようとする態度を身につけましょう。

グループ学習、ディベートなどの考察する場面では、他人の意見や考えを尊重し、お互いに協力し合いましょう。また、ワークシート、レポート、ノートなどの提出期日を必ず守りましょう。

客観的な資料に基づいて政治や経済の諸課題を考察し、諸課題について自分なりの望ましい解決の在り方を適切にまとめ、発表する態度を身につけましょう。

3 評価（評定）の観点、内容及び方法

皆さんの学習状況は、次の内容及び方法で評価します。

定期テスト、小テストの成績

基礎的・基本的事項を確認する小テストを内容のまとめりごとを実施します。また、定期テストでは思考力・判断力・表現力を問う論述問題も出題します。

課題レポート、ノートなどの提出状況や授業への出席状況

課題レポート

政治に関して、「1 現代の政治」の学習、新聞やテレビのニュースなどで興味・関心を持った事柄を3つ取り上げ、自分で調べた内容と自分の意見や感想を所定の様式でまとめ、6月末日までに提出します。

課題レポート

経済に関して、「2 現代の経済」の学習、新聞やテレビのニュースなどで興味・関心を持った事柄を3つ取り上げ、自分で調べた内容と自分の意見や感想を所定の様式でまとめ、11月末日までに提出します。

また、授業に積極的に参加しようとする意欲や態度、提出物の内容や出席状況など、学習の過程を重視します。

課題追究学習の成果（考察した過程や結果のまとめと発表）

どのような資料を収集・選択して、どのような結論を得たのかを適切にまとめ、発表できたかを評価します。教師による評価だけでなく、生徒の自己評価と相互評価も取り入れます。

4 学習計画及び学習内容

| | 学習項目 | 月 | 学習の内容 |
|--------------|------------------------------------|---|---|
| 学 期 | 「政治・経済」の学習について | | 「政治・経済」を学ぶ意義や授業内容、評価方法について確認します。 |
| | 1 現代の政治 (1) 民主政治の基本原則と 日本国憲法 | | (1)では、日本国憲法の基本的性格や日本の政治機構について理解を深め、望ましい政治の在り方と国民の政治参加の意義について考察します。 |
| | 政治と法の機能 | 4 | 政治とは何か、国家の役割は何か、民主政治とは何かについて学び、国家の法が何のためにあるかを考察します。 |
| | 人権保障と法の支配 | | 人権保障の歴史や広がり、法の支配と法治主義について学び、権利と義務・責任の関係を考察します。 |
| | 議会制民主主義と 政治の特質 | | 議院内閣制と大統領制の違い、社会主義国の政治体制について学び、首相公選制を考察します。 |
| | 日本国憲法の基本原則 | 5 | 明治憲法の特色、日本国憲法の三大基本原則、憲法の最高法規性について学び、改憲論議を考察します。 |
| | 基本的人権の保障と 新しい人権 | | 日本国憲法に規定する基本的人権、新しい人権、国民の三大義務について学び、公共の福祉を考察します。 |
| | 国会の組織と機能 | | 国会の組織や役割、法律の成立過程、衆議院の優越について学び、二院制の問題点を考察します。 |
| | 内閣の機構と機能 | 6 | 国会と内閣の関係、内閣総理大臣と内閣の権限について学び、行政改革の状況を考察します。 |
| | 裁判所の機能と人権保障 | | 司法権の独立、裁判制度、違憲法令審査権について学び、司法改革の問題を考察します。 |
| 地方自治制度と住民の権利 | | 地方自治の本旨、地方公共団体の行政機構と権限、住民の権利について学び、市町村合併問題を考察します。 | |
| 政党政治と選挙 | 7 | 政党の役割、日本の選挙制度とその問題点について学び、18歳投票制を考察します。 | |
| 世論と現代政治の課題 | | 世論と政治、マスメディアの役割と課題、国民の政治参加の意義について学び、棄権の是非を考察します。 | |
| 学 期 | (2)現代の国際政治と日本 | | (2)では、国際政治に関わる基本的な概念や理論、現代の国際政治の特質や国際紛争の諸要因について理解を深め、国際社会における日本の役割について考察します。 |
| | 国際政治の動向 | | 冷戦下の国際政治、冷戦の終結、冷戦後の国際政治の動向について学び、国際社会における相互依存関係を考察します。 |
| | 国際社会と国際法 | 9 | 国内法と国際法、国境紛争と国際裁判について学び、日本及び世界各地の領土問題を考察します。 |
| | 国際連合の役割と国際協力 | | 勢力均衡と集団安全保障、国連の組織・機能について学び、国連の役割と課題を考察します。 |
| | 安全保障と日本の防衛 | | 日本の安全保障政策、防衛の基本方針について学び、日本の平和と安全をどのように確保すべきかを考察します。 |
| | 国際政治の特質と 国際紛争の諸要因 国際平和と日本の役割 | | 国内政治と国際政治、世界各地の国際紛争の諸要因について学び、難民問題を考察します。 国際紛争や戦争を防ぐために必要なこと、これからの国際社会における日本の果たすべき役割について考察します。 |
| 学 期 | 2 現代の経済 (1)経済社会の変容と 経済のしくみ | | (1)では、経済に関する基本的な概念や理論、現代の日本経済の特徴について学び、これからの日本経済の在り方を考察します。 |

| | | | |
|-------------|--|---------|---|
| 2 学 期 | 資本主義経済の発展と 社会主義経済の変容 経済主体と経済活動 | 10 | 資本主義経済と社会主義経済の特質について学び、それぞれの課題を考察します。 家計・企業・政府という三つの経済主体の役割、株式会社のしくみについて学び、企業倫理の在り方を考察します。 価格の種類、市場機構、市場の失敗、独占の形態、独占禁止法について学び、外部不経済について考察します。 国富と国民所得、景気変動の要因と四つの局面について学び、生活の豊かさとは何かを考察します。 |
| | 市場経済の機能と限界 経済成長と景気変動 財政のしくみとはたらき | 11 | 財政のしくみと役割、租税の種類としくみについて学び、国債残高問題と税制上の課題を考察します。 金融市場のしくみ、銀行の役割、日本銀行の金融政策について学び、日本版ビッグバンについて考察します。 インフレの要因と種類、物価安定のための施策について学び、デフレのしくみを考察します。 戦後の日本経済の歩み、日本経済の国際化と規制緩和について学び、これからの日本経済の在り方を考察します。 |
| 3 学 期 | (2)国民経済と国際経済 | | (2)では、国際経済に関する基本的な概念や理論、近年の国際経済の特質について理解を深め、国際経済の発展に果たすべき日本の役割について考察します。 |
| | 国際経済のしくみと現状 為替相場のしくみ 国際協調と 国際経済機関の役割 国際経済の諸問題と 日本の役割 | 12 1 | 国際分業、貿易の意義と役割、国際資本移動について学び、自由貿易論と保護貿易論の考え方を比較し考察します。 外国為替市場のしくみ、為替相場の変動の要因について学び、円高と円安の影響を考察します。 ブレトンウッズ体制、国際通貨制度の変遷、WTOの役割について学び、国際経済機関の果たす役割を考察します。 地域的経済統合の動き、南北問題、南南問題について学び、国際経済の発展に果たすべき日本の役割について考察します。 |
| 3 学 期 | 3 現代社会の諸課題 (1)現代日本の政治や 経済の諸課題 大きな政府と小さな政府 少子高齢社会と社会保障 住民生活と地方自治 情報化の進展と市民生活 労使関係と労働市場 産業構造の変化と中小企業 消費者問題と消費者保護 公害防止と環境保全 農業と食料問題 (2)国際社会の政治や経済の 諸課題 地球環境問題 核兵器と軍縮 国際経済格差の是正と 国際協力 経済摩擦と外交 人種・民族問題 国際社会における 日本の立場と役割 | 2 3 | これまでの政治や経済に関する学習の成果を生かし、現代の政治や経済の諸課題の中から選択して追究する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察します。 【課題追究学習の進め方】 〔課題の設定〕 「1 現代の政治」「2 現代の経済」の学習をもとに、自分の興味・関心に応じて ~ の中から一つ、 ~ の中から一つのテーマを設定し、課題追究の内容や方法などの事項を所定の用紙に記入し、1月末までに提出します。 〔課題追究〕 同じテーマごとに班を編成し、課題追究の内容や方法、まとめ方等について事前計画を立て、課題追究学習を行います。 〔まとめ〕 望ましい解決の在り方について、論拠を明確にして各自の意見や考えをレポートにまとめます。 〔発表〕 テーマごとに、考察した過程や結果を発表します。発表終了後、自己評価と相互評価を行います。 |